



● 草の根パートナー型

平成24年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ウズベキスタン
2. 事業名	ウズベキスタン共和国シルクロード蚕業振興計画 -辺境農村における副業収入向上のための技術移転モデルの確立-
3. 事業の背景と必要性	ウズベキスタン共和国のホラズム州は、国内でも人口密度の高い地域で、貧困・失業率ともに高く、都市との格差が拡大し続け、若者の人口流出も大きい。この地域は古くからシルクロードの中継地として絹産業が発達していたが、近年、老朽化した機械や技術不足等により、国際競争に耐える品質の絹糸が生産できない状態である。また現在、絹の多くが安価な絹の状態に中国に輸出されているため、絹産業収入は減少を続け、養蚕農家も激減し、伝統産業の継承が困難になりつつある。本学が2009年9月に着手した草の根技術協力事業（パートナー型）により、フェルガナ地域養蚕農家の技術向上と収入増加をみた。この経験に照らして、養蚕と関連産業の改良による農家副業収入向上モデルをホレスム州の辺境農村地域に適用し実証的に開発したい。
4. プロジェクト目標	対象地域において高品質絹の自給生産システムが確立し住民の生計が向上する
5. 対象地域	ウズベキスタン共和国フェルガナ州およびホラズム州
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地の養蚕農家（農村女性含む）約28,000軒
7. 期待される成果及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>フェルガナシルクセンターとホレスムシルクセンターで交雑種が自給配布できるようになる</li> <li>ホレスム州の農家にフェルガナ州で成功した高品質絹の生産技術が移転される</li> <li>パイロット農家で、BWA（Business Women Association）と協働で高級絹製品が生産販売される</li> <li>フェルガナ州、ホレスム州のパイロット農家で優良桑品種への改植が進み、桑園の維持管理技術が移転される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>交雑種の自給配布システムをつくる</li> <li>ホレスム州の養蚕農家に高品質絹の生産技術を移転する</li> <li>高品質絹製品の開発をおこなう</li> <li>桑園の維持管理技術を移転する</li> </ol>
8. 実施期間	2013年3月から2015年9月（2年7ヵ月）
9. 事業費概算額	49,973千円
10. 事業の実施体制	首都タシュケントに、東京農工大学と国立養蚕研究所との拠点を設置する。プロジェクトマネージャー、派遣専門家、現地専門家が、養蚕研究所ホラズムシルクセンターの協力のもと、現地住民を組織化して実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人東京農工大学
2. 活動内容	農学、工学および複合領域の研究と学部・大学院教育